

提案

日付：2022/5/17

件名：ごみ全般の回答に関して

1.問題、課題：

令和4年度に入り、既に数件町長への手紙でゴミに対して3件寄せられています。それに対しての回答に対してとても残念とともに怒りを持ったため改善を求め手紙を投書します。

2022年3月7日に資源ごみの戸別収集への投書がありました。その回答に昨年10月にアンケートを取り、その結果をあたかも寒川町民全体の76%が『戸別収集は必要ない』『費用負担が発生するなら戸別収集は必要ない』との回答を得た、と回答しています。

寒川町民は、令和4年1月1日現在で48,570人。

昨年10月にeモニター登録者、たったの297名。その中でアンケートに回答した方はわずか160名。この160名のアンケート結果で76%（160人中約127人方が現状維持）の方が！！ともっともらしい回答をする時点で寒川町役場が、ごみ問題に対してどのように向き合っているのかみて取れます。

衛生指導員に関しては、負担軽減を求めているのではなく、廃止を求めています。町役場近くの資源ごみ置き場、ちょうど衛生指導員が立っていないところが何箇所もあるので、是非とも、町役場の職員（中でも衛生指導員は、必要だと仰っている方々）に一年間を通して毎月1時間、分別の指導で立ち会って頂きたいと思います。昨年、筒井地区では、衛生指導員が、コロナ禍のため分別の指導には立ち会わず、回収後に違反ゴミが残されていないかのチェックだけで済んでいるような話を聞いています。何故そのような形が取られるのが、一部の地域には、許可されているのでしょうか。

ゴミの減量をお願いしている町役場の声は、町民全体のココロに届いていますか。町役場の方は、本当にゴミ減量が必要だと思って行動されていますか。

2.改善案：

ネットで回答できないような人は置き去りにしてしまうような行政なのではないか。

町民全体のアンケートを取るのであれば、eモニターも紙ベースでのアンケートを是非とも実施してほしい！

寒川町役場は、正直、衛生指導員に関しても、今のゴミ収集に関しても、より良い方法を検討していきます、と口先ばかりで問題は先送り。しかも、町民の過半数が今のままで問題ないというアンケート結果があるから、その意見を尊重したというので

しょうか。

3.改善後の効果：

一部の人への過剰な負担が減る。

町民が、ゴミやリサイクルに対して向き合い方が変わってくる。

回答

<ごみ全般の回答に関して>

【所管：環境課】

昨年、e モニターに対するアンケートを実施し、登録者 297 名の内、160 名、割合として約 54% の方々から回答をいただき、貴重なデータを得られたと考えております。今年の 2 月には田端地区において、ごみ・資源物収集の試験運用を行い、アンケート用紙の配布、回収による調査を行い、現在、その結果のとりまとめ、分析を行っているところです。このようにインターネットと紙ベースの両面での調査をしています。

ごみ、資源物に関しましては、さまざまな業務があり、町職員も多様な任務に従事させていただいておりますが、資源物置場での分別指導等につきましては、今後も衛生指導員にお願いしたいと考えています。なお、コロナ禍のため衛生指導員が分別の指導に立ち会わない件につきましては、自治会からご照会があり、自治会のご判断で運用していただくようお願いいたしました。「衛生指導員に関しては、負担軽減を求めているのではなく、廃止を求めています」とのことにつきましては、個人のご要望として受け止めさせていただきますが、この件についてどのようにしていくかは、アンケート調査結果などいろいろな観点から判断していく必要があります。

ごみの収集について、今後も町民の方々のさまざまなご意見やご意向を把握し、町民の負担、行政経費などを総合的に検討し、より良い方法の実現を図ってまいりたいと考えております。